

会よりのお知らせ

幹事長就任にあたって

鶴田 匡夫

私は昨年12月の定例幹事会で幹事長に選任され、本年4月から向う2年の間、光学懇話会の舵取りという重い責任を負うことになりました。今まで、文献抄録委員、「光学」編集委員、抄録委員長、それにもう時効だと思えますが光学論文賞審査委員などの役を仰せつかりましたが、それぞれに勉強になったり、楽しかったり、発奮したりと、いいことばかりでした。ですから、幹事長就任の打診があったときも、自分がもう一度若返って古巣に戻るような気分もあって、気軽にお引受けした次第です。

しかし、前任者の阪大南先生からの引継ぎが始まってから、懇話会が抱える、とくに将来構想にかかわる難しい問題を目の当たりにし、研究機関で仕事をしたことも学生を教育した経験もない私が、そのような問題を手際よく処理できる見識や実行力を持ち合わせているかどうか、すこぶる心許ないことを思い知らされるようになりました。会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

光学懇話会が応用物理学会の分科会のひとつであるために、いろいろな制約たとえば国際会議を単独では主催できないというような制約をうけているのは事実です。しかし、これが2,000人近い会員を擁して、国内的にも国際的にも、応用光学の学問的技術的側面と工学一般に対する基盤技術的側面をあわせて代表する組織であること、少なくともそれを目指して来たことは、1952年の創立以来明らかだと思います。今後もこの組織を通じて、(1)光学の成果、たとえばレーザー、放射光、非線形光学などの工業的応用、(2)たとえばホログラフィやパターン認識に代表される、光学のものの考え方や方法の普及、(3)たとえば微小光学、結像論、光伝播論などを通じた光学業界との協力と連帯、等の活動を積極的に支援することが重要だと思います。

光学懇話会では、応用物理学会の会員としてこの学会を研究活動と情報交換の主な場とするB会員と、他学会を主な活動の場とするが応用光学に強い関心をもつ研究者や、企業で働く光学技術者を主な構成員とするA会員とがほぼ半数ずつを占めています。私自身はB会員ですが、日常的に関心をもつ範囲からすると心情的にはA会員に近いかもしれません。最近10年あまりの間、内外の新着専門誌に目を通す習慣から遠ざかっている私にとって、会誌「光学」は“現在の光学”に対して開かれた窓でした。昨年からは月刊誌に生れ変わった本誌が、原著論文の発表誌であると同時に、新しい技術動向の紹介や講義などによる啓蒙誌としても、両会員に対して共通に、魅力的な内容を提供し続けられるよう、編集委員長をはじめとする委員の皆様方と一緒に、努めたいと思います。

((株)ニコン)

編集委員長就任にあたって

神谷 武志

このたび「光学」編集委員会のまとめ役をおおせつかり、大役の前にあらためて身のひきしまる心地であります。編集委員会メンバーの皆様ならびに会員諸兄弟のお力をお借りして本誌の発展

のために微力を尽したいと存じますのでよろしくお導きくださるようお願い申し上げます。

私の専門とするところは光エレクトロニクスと近年呼ばれている分野で半導体レーザー、光導波デバイス、OEIC、微小光学およびそれらの素材となる材料の光物性に興味を持っており、必ずしも広い光学分野全体を見渡す広い視野も識見も持ちあわせておりません。また所属も大学の電子工学科に籍を置き、エレクトロニクスの側から光学の発展に関与してきた、というのが個人的なバックグラウンドであります。

かくも浅学にしてかつ偏りのある者があえて本誌の編集をお手伝いすることに決意いたしましたのはひとえに諸先輩の暖かい励ましによるものであります。さらに現代において光学の発展、展開はきわめてダイナミックなものがあり、伝統ある光学体系を拠点としながら隣接領域との積極的な相互作用を重ね、これからの情報化社会を荷う主要な物理的メディアの一つとしての“光”を総合的にとり扱かう学問へと変容しつつある空気の中で学会誌編集活動に参加することに魅力を感じたためでもあります。

“光”とわれわれのかかわりは実に多様であって、人間の最も大きい情報受容機能である視覚を刺激する実体でもあり、物質の量子力学的構造を最も直接的にプローブできる手段でもあり、光通信や光ディスクにおけるように、より一般のデジタル情報を運ぶキャリアの役割りを演ずることも可能であります。現代においては専門分化が果てしなく進んでいますが、「光学」という学問においてはこれらの多様性が基本的な光学の原理によって互いに結び合わさっているという側面も見逃せません。おそらくそれゆえに「光学屋」の多くは実用を重んずる現実主義者であると同時に原理的思考を愛するファンダメンタリストでもあるのではないのでしょうか。

幸いにして本誌の伝統は偏らない編集方針であり、このような「光学」の世界の層の厚さを限られたページ内に表現し続けてこられたように思います。昭和63年度の編集委員会も公平な編集方針を継承し、「光学」の層の厚さとダイナミズムを映し出してゆけるよう、編集企画を進めてゆきたいものと考えております。会員諸兄姉の建設的なご批判、ご助言をいただくことができれば幸いです。

(東大工)

○ 昭和63年度幹事

昭和63年度幹事は次の方々決定しました。

● 新任の幹事

新井 保則(旭 光 学) 石川 和枝(上 智 大)
 石原 聰(光 協 会) 伊東 一良(阪 大 工)
 魚里 博(奈良県医大) 内川 恵二(東 工 大)
 小笠原長篤(東 大 工) 岡田 勝行(千 葉 大 工)
 河合 滋(日 本 電 気) 神谷 武志(東 大 工)
 佐久間伸夫(リ コ ー) 志村 努(東 大 生 研)
 柴田 宣(NTT 伝送研) 鈴木 喜義(富士写真光機)
 鈴木 憲章(写真機工業会) 鶴田 匡夫(ニ コ ン)
 成相 恭二(東京天文台) 野崎 信春(富士フィルム)
 野沢 信弘(オ ハ ラ) 野田 英行(筑 波 大)
 馬場 直志(北 大 工) 日比野謙一(機 械 技 研)
 本田 捷夫(東 工 大) 松井 有二(島津製作所)

三橋 俊文(東 京 光 学) 矢田公太郎(ミ ノ ル タ)
 若木 守明(東 海 大)

● 留任の幹事

朝枝 剛(日本デック) 荒川 泰彦(東 大 生 研)
 稲垣 雄史(富 士 通) 今給黎哲郎(国土地理院)
 大木 裕史(ニ コ ン) 尾島 正啓(日 立 中 研)
 上西 克二(東北大科研) 神谷 恒吾(岐阜大教養)
 久保 高啓(三 菱 電 機) 久保田敏弘(京都工織大)
 小松 進一(早 大 理 工) 桜井 慧雄(計 量 研)
 佐藤 平八(防 衛 大) 瀬谷 正樹(ユニオン光学)
 滝沢 國治(N H K 技 研) 西沢 紘一(日本板硝子)
 波多腰玄一(東 芝 総 研) 畑田 豊彦(東京工芸大)
 百村 和司(オ リ ン パ ス) 松田 俊介(松 下 電 器)
 南 茂夫(阪 大 工) 峯本 工(神 戸 大 工)
 宮前 博(コ ニ カ) 米村 元喜(山 梨 大 工)

○ 昭和 63 年度常任幹事

昭和 63 年度常任幹事および役務分担は次のとおり決定しました。

幹事長	鶴田 匡夫		
副幹事長	畑田 豊彦		
編集	神谷 武志	本田 捷夫(副)	
	小松 進一(文献抄録)		
庶務	大木 裕史(渉外)	河合 滋(記録)	
	内川 恵二(広報)		
会計	志村 努(収支)	宮前 博(予算)	
事業	朝枝 剛	荒川 泰彦	
	小笠原長篤	佐久間伸夫	
	鈴木 憲章	西沢 紘一	
	三橋 俊文		
関西	伊東 一良	松井 有二	
	峯本 工		

○ 昭和 63 年度光学編集委員

昭和 63 年度編集委員は次の方々に決定しました。

委員長	神谷 武志(東大工)		
副委員長	本田 捷夫(東工大)		
委員			
浅井 和弘(東北学院大)	精松 淳(大日本スクリーン)		
有本 昭(日立中研)	岩田 藤郎(凸版印刷)		
内川 恵二(東工大)	枝広 隆夫(N T T)		
大井みさほ(東京学芸大)	小椋 行夫(リコー)		
加藤 正彦(オリンパス)	小松 進一(早大理工)		
栖原 敏明(阪大工)	豊岡 了(埼玉大工)		
長尾 公俊(富士フィルム)	服部 肇(名古屋市工研)		
坂野 誠(コニカ)	藤井 義正(住友金属鉱山)		
藤原 裕文(室蘭工大)	前田 三男(九大工)		
松本 弘一(計量研)	峯本 工(神戸大工)		
矢口 博久(千葉大工)	谷田貝豊彦(筑波大)		
山本 昇(キャノン)	山口十六夫(静岡大工)		

○ 昭和 63 年度文献抄録委員

昭和 63 年度文献抄録委員は次の方々に決定しました。

委員長	小松 進一(早大理工)		
委員			
秋山 光一(コーワ)	阿山みよし(東工大総理工)		
荒木 清(旭光学)	犬塚 友康(オハラ)		
内川 清(ニコン)	内山 誠治(千葉大工)		
及川 正尋(日本板硝子)	大里 潔(ソニー中研)		

岡田 勝行(千葉大工)	岡本 隆之(理研)
小野 修司(富士フィルム)	菊地 奨(オリンパス)
菊地 宏(NHK 技研)	木村 靖夫(日電光エレ研)
坂井 裕之(HOYA 材研)	志村 努(東大生研)
半田 祐一(キャノン中研)	中嶋 芳雄(聖マ医大)
中村 滋(日立中研)	日野 真(リコー中研)
藤間 一郎(計量研)	本宮 佳徳(東芝総研)
森 伸芳(コニカ)	盛岡 敏夫(NTT 伝シ研)
渡辺 正信(電総研)	

○ 昭和 62 年度第 6 回常任幹事会

昭和 63 年 2 月 15 日(月)に東京、虎ノ門の第 9 森ビルにおいて開催され、庶務、会計、「光学」編集、文献抄録委員会、講演会・講習会の経過などについて報告と審議が行なわれました。また、総会提出資料についての検討が行なわれました。

○ 昭和 62 年度第 10 回編集委員会

昭和 63 年 2 月 22 日(月)に東京、本郷の学士会分館において開催され、「光学」各号の会計、編集状況および企画について報告と審議が行なわれました。

○ 昭和 63 年度光学懇話会春季講演会のお知らせ

昭和 63 年 5 月 27 日(金)に神奈川、平塚の東海大学湘南校舎において開催されます。詳細は本号 209 ページ掲載の案内をご覧のうえ、参加ご希望の方はお早めにお申込みください。

○ 1988 年第 13 回光学シンポジウム(光学技術・学術講演会)のお知らせ

昭和 63 年 6 月 24 日(金)に東京、六本木の東京大学生産技術研究所(交渉中)において開催されます。詳細は 17 巻 2 号 104 ページ掲載の案内をご覧ください。

○ 微小光学研究グループよりのお知らせ

● 第 7 回微小光学特別セミナーの予定

昭和 63 年 5 月 17 日(火)、18 日(水)に東京、虎ノ門の三会堂ビル 9 階・石垣記念ホールにおいて、“Physics in Microoptics” のテーマで開催されます。詳細は 3 号巻末綴込みをご覧のうえ、参加ご希望の方はお早めにお申込みください。締切りは昭和 63 年 4 月 25 日(月)です。

○光コンピュータ研究グループよりのお知らせ

●第24回光コンピュータ研究会の報告

昭和63年2月5日(金)に東京、六本木の東京大学生産技術研究所において、37名の参加のもとで開催されました。中心テーマは、「量子状態の制御と光情報処理」(玉川大学・広田 修)および「多段接続可能な並列光演算器」(日本電気・河合 滋, 笠原健一, 田代義治, 窪田恵一)でした。最新の話題をわかりやすく紹介していただき、活発な討論が行なわれました。

(東大生研 伊藤雅英)

●第26回光コンピュータ研究会の予定

日 時: 昭和63年6月3日(金) 14:00~17:00

場 所: 電気通信大学 図書館 AV ホール

京王線調布駅下車徒歩10分または三鷹行/
吉祥寺行小田急バス電気通信大学前下車徒歩1分

演 題: 1. 視覚情報システムへのハイブリッド処理のシステムアプローチ

伊藤裕康(富士通)

2. Hopfield モデルによる光連想コンピューティング

久間和生, 太田 淳

田井修市(三菱電気)

問合せ先: 〒113 東京都文京区本郷 2-4-14 山崎ビル
(財)日本学会事務センター 光コンピュータ研究グループ事務局 轟 豊語
電話 03-817-5831

なお、研究会については

〒182 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
電気通信大学電子情報科 武田光夫
電話 0424-83-2161 内線 4436

○視覚生理光学研究グループよりのお知らせ

●昭和62年度冬期視覚生理光学研究会の報告

昭和63年1月28日(木)~30日(土)に新潟、妙高の妙高簡易保険保養センターにおいて開催されました。58名の参加があり、活発な討論が行なわれました。なお、この場で本研究グループの名称を「視覚研究グルー

プ」と改称することが決定されました。詳細は次号「さろん」欄の参加報告をご覧ください。

(千葉大工 矢口博久)

●昭和63年度夏期視覚研究会の予定

日 時: 昭和63年7月27日(水)~29日(金)

場 所: 恵那簡易保険保養センター

電話 05732-6-4600

中央本線恵那駅下車

問合せ先: 〒260 千葉市弥生町 1-33

千葉大学工学部画像工学科 矢口博久

電話 0472-51-1111 内線 2941

○新入会員

個 人

会員番号	氏 名	所 属
A 2285	大島 康実	成蹊大・工
2286	武野 仲勝	(株)メニコン
2287	的場 有治	日本鋼管(株)
2288	林 克巳	日本赤外線工業(株)
(B-1805 ヨリ)		
2289	永田 良	
(B-397 ヨリ)		
2290	北岡 泰久	松下寿電子工業(株)
2291	和田 隆	大日本印刷(株)中研
2292	大股 健	三井石油(株)機能材研
B 1825	小笠原洋光	岩手大・工
1826	前沢 卓也	日本航空電子工業(株)
1827	沼居 貴陽	日本電気(株)光エレクトロニクス研
1828	田口 信義	松下電器(株)中研
1829	若木 守明	東海大・工
(特-115 ヨリ)		
1830	中島 映	コパル電子(株)
1831	村上 文夫	日本無線(株)研究所
(A-1655 ヨリ)		
1832	竹村 安弘	セイコー電子工業(株)
(A-2232 ヨリ)		
1833	尾野 直紀	三井金属工業(株)

特別会員

特別会員 116 北尾書籍貿易(株)

昭和 63 年度光学懇話会春季講演会のお知らせ

今年度の光学懇話会春季講演会を、見学会を兼ねて、下記のとおり開催いたします。

日 時：昭和63年 5月27日（金）13：00～16：30

場 所：東海大学湘南校舎・工学部光学工学科（小田急線・東海大学前駅下車）

〒259-12 神奈川県平塚市北金目 1117

電話 0463-58-1211 内線 4420

- プログラム：1) 学科紹介 13：00～13：20 主任教授 横田 英嗣
- 2) 講 演 13：20～14：50
- (1) 幾何光学の現状と問題点 工学部光学工学科教授 草川 徹
- (2) ツインパルスレーザーと実時間干渉用ホログラムの
位相特性について 開発技術センター教授 山本 芳孝
- (3) リモートセンシング画像処理の現状と動向
情報技術センター・工学部光学工学科教授 下田 陽久
- 3) 見 学 15：00～16：30

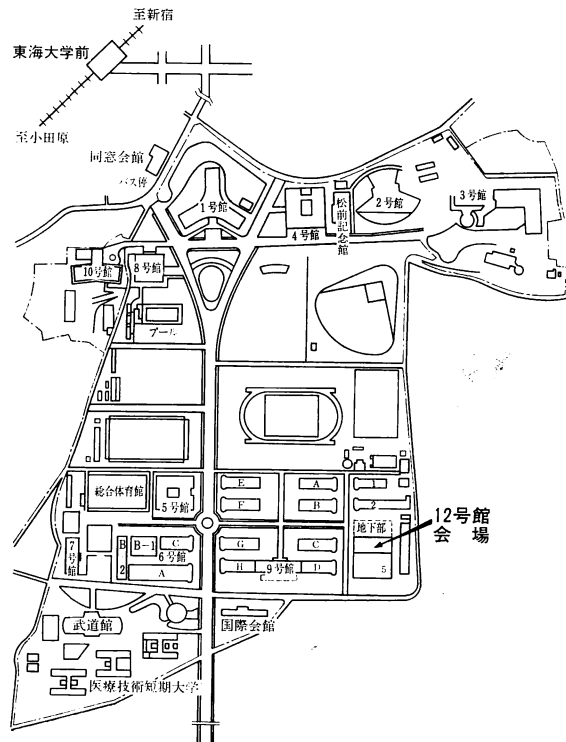
参加費：無料

定 員：40 名（申込み順に受け付け、定員を越えた場合はお断りすることがあります）

参加申込みおよび問合せ先：東海大学工学部光学工学科 若木 守明

〒259-12 神奈川県平塚市北金目 1117

電話. 0463-58-1211 内線 4426



〔交通〕

- 新宿駅——（小田急線）——東海大学前駅（65分）
同駅より徒歩で20分（または小田急線鶴巻温泉駅でタクシー、バスの便あり）
- JR 平塚駅——（神奈川中央交通バス）——東海大学正門（25分）
（東海大学行、秦野行）